

箕筒地区協議会

平成24年度 「地域の絆」分科会の活動報告

「地域の絆」分科会は、「生活課題」分科会で実施してきた『たんす地域の絆プロジェクト』を引き続き受け継ぎ、活動を行ってきました。

「声かけ合おう むこう三軒 両どなり」の標語もかなり浸透してきたと思われませんが、実際にこの標語のように、地域の絆を実感できる啓発活動等がないか検討をしてきました。

子どもから高齢者まで、地域で見守る体制を確立することは大事なことです。また、この地域内でも様々な団体がコミュニティの場作りを行っています。そこで、絆分科会では平成24年9月30日の『UTCオンステージ&たんす緑と花のまちづくりフェア2012』で、地域で活動している団体を紹介するパネルを作成し、たんすギャラリーで紹介しました。また、平成25年1月27日の牛込箕筒地域まつりでは、あさひ児童遊園の一角を利用し、来場した人同士が交流できる場所を作り、運営しました。寒い時期でもあったので、火鉢を借用し、火を囲んで話ができるように実施したところ、火鉢の話題を会話のきっかけをする方がいたり、交流スペースを設置した目的は達成できたと感じる事ができました。

24年度は地区協議会としてできることの検討がメインとなってしまいましたが、25年度は、地域まつりで行ったコーナーのようなものをあさひ児童遊園で定期的で開催し、世代間を越え、地域住民同士が交流できる場所作りを計画しています。「地域の絆」といっても、簡単に作り上げられるものではありません。時間をかけてこの地域にあった絆作りをしていくことができれば良いと考えています。

また、昨年11月からカーブミラー清掃を再開しました。1年半ぶりの清掃でしたが、思ったより汚れていることを実感しました。月1回程度の清掃活動ですが、24年度中に7割程度の清掃を終えました。昨年はこのカーブミラー清掃活動が認められ、警視庁交通部長賞を受賞しました。この表彰は、私達にとって今後の活動の励みとすることができました。この活動は継続して行っていくつもりです。

カーブミラー清掃終了後については、「安全・安心」の意識向上のために警察等と共同で「大人の交通安全教室」を開催していきたいと、検討しているところです。